を認め、一人では、「いくからからから、うつスカーム、 Read は書きから なく、 Rest からない。 「からないない。 「おいっていません」 では、 Read は Rest からない できない できない できない できない できない できない できない でき	意見・要望など	回答部署	回答
「報点人工力」では、他性人が登着資料を含ま、データアルスの合意は、では、またいでは、できない。 「できないで、自然のでは、できない。 「できないで、自然のでは、「できない。 「できない」では、「でき	現状、大学で使用されているManabaやaiai、クラスルーム、Slackと連絡ツールが多く、使い方や導入用途が分からないので使い分けのアナウンスを行ってほしい。 学生はManabaの使用頻度が一番多いので現在aiaiでされている連絡など		授業関係はmanabaあるいはクラスルーム、履修登録関係はaiai、その他の一般的な連絡事項は Slackに集約していきたいと考えている。
			る。Slackは学生アカウントでログインするので、アクセス記録も残り、匿名性はない。ネットリテラ
本語の日本の対象に関いて、対象に対象を対象を対象していることでは、			絡に使用している。ただ、各学年の全体連絡や個別連絡はmanabaやslackで可能であり、らくらく 連絡網の使用頻度が減少しているのは事実である。今は卒後研修会の案内を送ったりするな
語・の発生を対していまって、は、では、対している。というでは、現るとはからためて、マールを対していまって、は、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	■事務職員の対応に関して		
本一本に対象がサースがあった。 ###################################	部への提出書類などがギリギリになってしまい、困ることがあったので、マニュアルなどを作成して、誰でも対応できるようにしてほしい。	事務センター	共有を図ってきたが、不十分な点もあったことを再認識し、今一度関係性を構築しながら学生の
## 立の場所を表現があったとはエスプラムール側のサイトを受からない。 「製造しているのである。 「おりまた」を表現があったとはエスプラムーとはあった。 「おりまた」を表するとはでのガイゲンスなどでは、単音を含くしました。 「おりまた」を表するとはでのガイゲンスなどでは、単音を含くしました。 「本力からを含する場がが、大力なできない。 「本力からを作でのガイゲンスなどでは、単音を含くしました。 「本力からを含する場ががいたがたかったので、上発生に選けるような を含まる。 「おしたガイゲンスなどではなく、単音を含くしました。」 「本力からでは関いたました。」 「本力がしたガイゲンスなどではなく、選手を含くしました。」 「本力がしたが、中毒が、中毒が、中毒が、中毒が、中毒が、中毒が、中毒が、中毒が、中毒が、中毒			
学生図書から一般に対している。またが、これでは、自体を見からいたりで、大き組上側するような場合が、たとしている。と同じたいでは、大き関係をしている。と同じたいでは、と思考したいではなく、直接発見へ起しかけている。またが、ためているでは多している。と同じたいでは、できないという。とは、自体では、自体発見をしかけている。とは、自体では、自体発見をしかけている。とは、自体では、自体発見をしかけている。とは、自体では、自体発見をしかいない。というないを関係ができると、大きなは、自体をしかがほし、これでは、自体発見をしかいない。というないというない	4年生の就職活動に関して学校からの案内が実習が終わってから始まるため が切が早い病院があったときにスケジュール間がタイトで苦労した。 来年はカリキュラム改変があると聞いたので下級生のことを考えると、1.2	学生委員会	検索サイトなので、全国の求人情報が確認できる。また、本学の先輩方の求人先などの情報も 追加されているので、希望先に監野大学の先輩が就職されているかも確認できる。 就職活動の全体的な流れに関しては、5月頃に「就職の手引き」が配布されていると思う。その P10に「就職活動の進め方」と言う項があるので参考になるかと思う。 本学では、1・2年次より外部業者(マイナビ・リクナビ)の講座を学科によっては導入している。基 本的な接遇に対することから、自己啓発・エントリーシートの書き方など様々な内容である。各学 科の就職指導委員の先生に尋ねてみていただきたい。確かに上級生から就活の情報を聞ける 機会を作るという案はいいと思う。各学科で実施可能か検討する。 学科全体の事に関しては、各学科の就職指導部会の先生が中心となって実施されていると思
学科に同けたカイタンスだけではない、健康を介えない。 「教会を名という意だ」いいと思う。今年はで表しまりた。 「およっな人表情やとんな試験を受けたのか、など一覧で見わるものがほし。 「およっな人表情やとんな試験を受けたのか、など一覧で見わるものがほし。 「およっな人表情やとんな試験を受けたのか、など一覧で見わるものがほし。 「およっな人表情を含しまれていった。」 「およっな人表情を含しまれていった。」 「およっな人の表情としていては、ますが、「およっな人を表しましていると、できる。 「およっな人の表情としていては、ますが、「およっな人を表しましている。 「およっな人の表情を表していていると、まずなよりにしているものでは、まずいましている。 「およっな人の表情を表していている。」 「およっな人の表情としていている。」 「およっな人の表情としていている。」 「およっな人の表情としていている。」 「およっな人の表情としていている。」 「およっな人のまた。」 「およっな人の表情としていている。」 「およっな人の表情としていている。」 「およっな人の表情としていている。」 「およっな人の表情としていている。」 「およっな人の表情としていている。」 「およっな人の表情としていている。」 「およっな人の表情としていている。」 「およっな人の表情としていている。」 「およっな人の表情としていている。」 「およっな人の表情とないか。 「およっな人の表情とと考ってしまう特殊等や。まつ。 「およっな人の表情とないか。 「およっな人の表情とといている。」 「およっな人の表情とと対っている。 「およっな人の表情とと対っている。 「およっな人の表情とと対っている。 「およっな人の表情とと対っている。 「およっな人の表情とないか。 「およっな人のなく、もの表情を表している。」 「およっな人の表情と表していている。」 「およっな人の表情と表していている。」 「およっな人の表情を表している。」 「おまっな人の表情と表していている。」 「およっな人の表情を表していている。」 「おまっな人の表情を表していている。」 「おまっな人の表情を表している。」 「おまっな人のな人のまな人の人のまな人の人のまな人の人の表情を表している。」 「おまっな人の表情を表している。」 「おまっな人の表情を表しないる。」 「おまっな人の表情を表している。」 「おまっな人の表情を表しないる。」 「なまっな人の表情を表しないる。」 「なまっな人の表情を表しないる。」 「なまっな人の表情を表しないる。」 「なまっな人の表情を表しないる。」 「なまっな人の表情を表しないる。」 「なまっな人の表情を表し			
事品のアメージ方法でのか、など一覧で見れるものがほし、 温光の音かアメージ方法でのいて、 最高にの書かが受いた。「おきなどにより間でしないと、もの様子が一分性のではできる。「参考などさい、 選出できるからなども場所がAMOPIAのファミリーマート1つしかないと、 の。とても不同に思いる。足体がは買い物をする学生とチャージする学生で 混削している。アルフェントでは、意下状の節息も近くのといった。「おきなどによりではないか、 事務センター まるというで、「おに温校生と彼ってしまう時間等や、8:20、 のからアメーの理解を描しないで、特に温校生と彼ってしまう時間等や、8:20、 のからアメーの理解を描しないで、特に温校生と彼ってしまう時間等や、8:20、 のからアメーの理解を描しないで、特に温校生と彼ってしまう時間等や、8:20、 のからアメーの理解を描しないで、特に温校生と彼ってしまう時間等や、8:20、 のからアメーの理解を描しないで、特に温校生となっている。 様のからかって表ものにないで、特に温校生となっている。 場のがスかずご(温んでいて、特に温校生となってしまう時間等や、8:20、 のからかり上くスかがな、歩いて帰っている状態なので読 数してほんし、少し、大人の混雑を考慮した時間別について覚えた。では維持しましまい。 一般のの音波が多ないので使化、もしてはなど生とかけて選 数とではいか。 を変数機能がありますがこのでは、また、他のではないか。 を変数機能がありますが、というでは、また、他のではないか。 を変数機能がありますが、というに関でない。 を変数機能がありますが、というでは、というではないか。 を変数機能がありますが、というでは、というではないない。 などがら数値を行うまでない。 を変数機能を対しているを観音を表して、人のでい方とどこいで、全ての学生 からが、ボンターの機能を定され、表質の表である。また、米・ド窓 はないた。というによりまないないとともある。表のので観光がとない。 を表を異ないないとともある。また、米・ド窓 はないたととを持ちる。表では、米・ビールで、見からいとこいで、全での学生 からが、ボンターの意にかないとながあるので表示した。要素がある。 を表を見ないないとこともある。表のの様は、ボンターの使い方とどこいで、全での学生 ながら数値を行うまである。 を表を見いているともある。表のの情を必ずに表して、見かけに発展した。 を表を見いているとともある。表のの情をないと、といるというでは、 を表を見いているとともある。また、米・ド窓 を表を見いているとともある。また、米・ド窓 を表を見いているとともある。また。また、米・ド窓 を表を見いているとともある。また、米・ド窓 ながら数値を行うまでないとともある。また、米・ド窓 を表を見いていることもある。また、米・ド窓 を表を見いていることもある。また、また、米・ド窓 を表を見いていることもある。また、米・ド窓 を表を見いていることもある。また、米・ド窓 を表を見いていることもある。また、米・ド窓 を表を見いていることもある。また、また、米・ド窓 を表を見いていることもある。また。また、米・ド窓 を表しまました。また、米・ド窓 を表を見いていることもある。また。また、また、米・ド窓 を表を見いていることもある。また、また。また、米・ド窓 を表をしていることもある。また。また、米・ド窓 を表をしていることもある。また。また、米・ド窓 を表をしていることもある。また。また。また。また、米・ド窓 を表していることもある。また。また。また。また。また。また。また。また。また。また。また。また。また。			
無当的でチャージできる場所がMOPIAのファミリーマート1つしかないた。 かとでも不便にある。各株のはまた物をする学生とケージを参加できる生きたサージを参加では、またいが、またいが、またいが、またいから、またいが、またいが、またいが、またいから、またいが、またいが、またいが、またいが、またいが、またいが、またいが、またいが			生と今後の方向性等については相談いただいていいのかと思う。
■ 公子一ルバスに関して ダイヤ変更がわかりにくいたが、Manabaなどでの周知を徹底してもらいたい。 ボカインスを対して、持に高校生と競ってしまう時間帯や、8:20、30台の学校への到着時間が認めないので増度、もくば高校生と分けて選及の時間もサークル検わりにバスがなく、歩いて帰っている状態なので調度としました。 本の時間もサークル検わりにバスがなく、歩いて帰っている状態なので調度としました。 「情報システム・教育機器前後、関連機能を関していては、大力ではは素さままた。登録計可制、場面とはできないか。 ■ Mind Fittig I に関して Mind の 変が関いて授をでも支陰が出ているのではないか。 本様、B様、図書館の個別プースでの設置を検討してほしい。 ■ Mind Fittig I に関して Mind C できながない。 「情報システム・教育機器前会 「技術とあると後方モニターや、プロジェクターが見えつる。」 「大力の 高いると後方モニターや、プロジェクターが見えつる。」 「大力の 高いると後方モニターや、プロジェクターが見えつる。」 「大力の 高いると後方モニターや、プロジェクターが見えつる。」 「大力の 高いると後方を表して、産業指定を無くすことによって解決できるのではないか。 本教育要責任に関して 要素が表に関して 要素が表に関して 要素が表に関して 変素が見いなのとないを表して、産業指定を無くすことによって解決できるのではないか。 本教育要素が、1000のようなと後方モニターや、プロジェクターが見える。な、ポインターの画面のサイズを持つかないことがあるので授業が分かった。ボインターの画面のサイズを持つかないことがあるので授業が分かった。「大力の情報を表している。」 本教育要素が、1000のよりによりによりに表しましている。ま想していく、学の方からも見えにていなどの問題がある。教育の研修会などでし、身がして優先、自然の研修会などでし、見かりい環境を持つでし、ま物の、場面の研修会などでし、見かりい環境を付いていまして、会社していると表しては、見からいなどにはよりませんの名が、表記でいると表して、表もしていく、実立の方がも見えにていなどの問題がある自然は、果然の研修会などでし、見かりい環境を向いているとなった。「大力の情報と表しなど」には、実践の研修をなどでし、見かりい環境を対している。 「大力の情報といるとは、大力の手がよりにいく方を表しいる」 「大力の情報といるとは、大力の主になど、表が出ることを動める。 本書は一回路を表れている。 本書を出るの方がより、製造する前間を考えて受けていたいな、別様を含めている。 「大力の情報といるので展生が多った」とない環境を対している。 本書は一回路が表った。ここでは、学科によるこれを対しないます。 「大力の情報といるのでは、大力のよいが、要生のの学がよることと表的のよりによりによりによりによりによりによりによりによりに表しましている。 本書は一回路が表のス・ジュールに使用で強しいが、教室の状況に応して受失。 本書は一回路が表のス・ジュールに使用で強しいが、表をの状況を表している。 本書をしているといるのでは、大力のよりによります。 本書は一回路が表していることが表も、外間にしては、一度にすることは表別のでいることを動める。 本書を出るの方がより、表に表します。 本書をとしては、一般では、大力のでは	施設内でチャージできる場所がAINOPIAのファミリーマート1つしかないため、とても不便に感じる。昼休みは買い物をする学生とチャージする学生で混雑している。	事務センター	るようにした。その際チャージ機の設置についてはずいぶん検討したが、学内にチャージ機を設置すると学校として現金を扱うこととなりキャッシュレス化にならないため難しいという判断に至った。チャージについては、登下校の際自宅近くのコンビニ等も利用するなど工夫していただきたい。 他の電子マネーの導入については、証明書発行機についてはシステムの都合上難しい可能性
い。	■スクールバスに関して		
■ 数空環境に関して 「大きないか。」 「大きないか。 「大きないか。 「大きないか。 「大きないか。 「大きないか。 」 「大きないか。 「大きないか。 」 「大きないか。 」 「大きないか。 」 「大きないか。 「大きないか。 」 「大きないか。 」 「大きないか。 「大きないか。 」 「大きないか。 「大きないか。 」 「大きないか。 「大きないか。 」 「大きないか。 「大きないか。 「大きないか。 「大きないか。 」 「大きないか。 」 「大きないか。 「大きないか。 」 「大きないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	い。 朝のバスがすごく混んでいて、特に高校生と被ってしまう時間帯や、8:20、30台の学校への到着時間が読めないので増便、もしくは高校生と分けて運用することはできないか。 夜の時間もサークル終わりにバスがなく、歩いて帰っている状態なので調整してほしい。 AINOPIAでバスを待つときに雨でぬれたり、するため屋根を付けることはで	学部長	は対応しきれない問題がある。高校の始業時間変更は難しいが、一部の講義始まりを2限目にするなどバスの混雑を考慮した時間割について短大と大学で協議する。また、登録許可制、講習会受講義務等が前提条件になるが含めバイク利用について検討する。夜間のバスダイヤ改定については検討する。ダイヤ変更についてはmanabaでの周知徹底を図りたい。AINOPIA屋根
MLCの電波が弱くて授業でも支障が出ているのではないか。			
接業によって、後方の席になると後方モニターや、プロジェクターが見えづら、ポインターや図面のサイズ感がつかめないことがあるので授業が分かりにくい。 ***********************************	MLCの電波が弱くて授業でも支障が出ているのではないか。		使用する場合に、登録許可制でWi-Fiを使用できるようにする方向で考えている。また、Wi-Fi設備については、導入が古い設備から順次更新すると共に、未設置の教室等にも優先順位を考慮
空調に関して効きがよかったり悪かったりとするため、扇風機や送風機などで調整をしてほしい。 事務センター 学科ごとに対応が違うので、ここでは4学科に共通する内容で回答する。 ・各学科に国試対策のスケジュールを各学科の4年ガイダンス(あるいは学科によってはもう少し前)に知らせる。その際に教科書なども案内する。 ・後機試験については、各学科の全体スケジュールにも関わるので、教員から目的と実施時期、ペースなどの説明も加えるようにする。 ・国試対策について、先輩からのアドバイスを設定している学科もある。学科によって可能かどうかわからないが、学生からの希望があることを伝え、前向きに検討していく。	授業によって、後方の席になると後方モニターや、プロジェクターが見えづらく、ポインターや図面のサイズ感がつかめないことがあるので授業が分かりにくい。 すぐに対応できる策として、座席指定を無くすことによって解決できるので	教務委員会	が授業を受けやすいように配慮するよう、教務委員会を通じて全教員に伝え、善処していく。学生の方からも見えにくいなどの問題がある場合は、早めに授業担当者に伝えるか、事務センターなどに申し出ることを勧める。教員の研修会などでも、見やすい授業資料の作成についてなどのテーマを扱っていくことを検討する。 モニター、プロジェクターについては、順次交換を進めている。 座席の変更の希望(目が悪くて見えづらいなど)にも学生の希望に応えるように教務委員会を通
■国家試験に関して 単国家試験に関して 本質試をすべて一律ではなく、希望制での受験に変更できないか。 短期間でつめすぎている感覚があり、勉強する期間を考えて受けていきたい。 国試対策のスケジュールが定まっていないところが多く、固めておいてもらいたい。 国家試験に向けての取り組み方やコツなどを始まる前に先輩、教員などに	空調に関して効きがよかったり悪かったりとするため、扇風機や送風機などで調整をしてほしい。	事務センター	位を考慮し計画的・段階的に更新を行っていく予定である。 教員の在席状況については、教職員の出退勤システムを活用し、MLC棟のサイネージ等で知ら
する教科書などを教えてほしい。 模試をすべて一律ではなく、希望制での受験に変更できないか。 短期間でつめすぎている感覚があり、勉強する期間を考えて受けていきたい。 国試対策のスケジュールが定まっていないところが多く、固めておいてもらいたい。 国家試験に向けての取り組み方やコツなどを始まる前に先輩、教員などに 「学科ごとに対応が違うので、ここでは4学科に共通する内容で回答する。 ・各学科に国試対策のスケジュールを各学科の4年ガイダンス(あるいは学科によってはもう少し前)に知らせる。その際に教科書なども案内する。 ・機擬試験については、各学科の全体スケジュールにも関わるので、教員から目的と実施時期、ペースなどの説明も加えるようにする。 ・国試対策について、先輩からのアドバイスを設定している学科もある。学科によって可能かどうかわからないが、学生からの希望があることを伝え、前向きに検討していく。	■国家試験に関して	教務委員会	学科ごとに対応が違うので、ここでは4学科に共通する内容で回答する。 ・各学科に国試対策のスケジュールを各学科の4年ガイダンス(あるいは学科によってはもう少し前)に知らせる。その際に教科書なども案内する。 ・模擬試験については、各学科の全体スケジュールにも関わるので、教員から目的と実施時期、ペースなどの説明も加えるようにする。 ・国試対策について、先輩からのアドバイスを設定している学科もある。学科によって可能かどう
短期間でつめすぎている感覚があり、勉強する期間を考えて受けていきたい。 ******* ***** **** *** *** ***			
国試対策のスケジュールが定まっていないところが多く、固めておいてもらいたい。	短期間でつめすぎている感覚があり、勉強する期間を考えて受けていきた		
国家試験に向けての取り組み方やコツなどを始まる前に先輩、教員などに			
			A 17A つらい A 1、 丁 上 A 1 つ V 7 和 主 A 1 の) むしこで IA A、 制 P J こ に 快 B) し し い へ。

下記、当日議論できなかった内容になります。			
■再試験料等の費用に関して 再試験料はどこに使われているのか、明確に提示してほしい。	教務委員会	再試験は、すべての科目で実施が義務付けられている試験ではない。再試験は本来しなくても よい試験と位置づけられている。再試験料には、問題作成、監督、採点、手続きなど、そういった ことが含まれており、その内訳をさらに詳細に示すことは難しい。	
■学祭費の費用に関して コロナ禍で中止になった学祭費はどこに使われているのか、明確に提示してほしい。	学生委員会	中止になった際の学祭費については、全て持ち越しで次年度以降の学祭の予算として使用する。その他の費用として使われることは一切ない。	
■試験の問題用紙について 試験問題を持ち帰れないため、答案がわからず復習ができない。 持ち帰らせてもらうか、試験に対するフィードバックを行ってほしい。	教務委員会	返却しているか、していないかは、科目によると思うが、返却しないと考えられる理由として、試験問題が先輩から後輩に受け渡され、学生がもらった試験つまり前年度の試験問題しか勉強しないなどの問題があり、返却することの弊害もあるからだと考えられる。 しかし、この件については、教員に申し出れば、特別な理由がない限りは閲覧と説明はしてもらえると思うので、科目ごとに担当教員に申し出ることを勧める。教務委員会を通して全教員に試験終了後に返却または閲覧可能であることの説明を授業内することを伝える。ただし、試験の時期、内容など諸事情により返却、閲覧できない場合もある。	
■学業行事の日程や案内に関して 卒業式の日程や奨学金の案内連絡が遅く、仮予定が多いため早く決めて 開示してほしい。 また、奨学金の案内に関しては複数日程を選択できるようにしてほしい。	事務センター	卒業式の日程の確定には、学内外の各関係個所との調整が必要なため時間がかかってしまうのが現状であるが、出来る限り早く確定できるよう努める。 奨学金説明会は、学科別・学年別に時間割内容を検討し、それぞれ空き時間に設定している。 都合によりどうしても参加できない場合は、他の学科や他の学年の回に参加可能であることも案 内している。また、正当な理由によりそれでも参加が難しい場合は、個別対応も行っているので、 その際は事務センターに申し出ていただきたい。	
■自習スペース 図書館のルールがあいまいで話をしている学生も多くいるので集中できない。	中央図書館運営委員会	ルールについては、今一度学生に周知するので、各自確認していただきたい。 現在も定期的に図書館職員による見回りを実施し、注意を行っているが、常時見回ることができない。 よりよい図書館利用のため、学生同士による注意をお願いできないか。図書館職員へ連絡でも 構わない。	
■自習スペース MLCの自習室の利用サイトがわかりにくく、予約だけされていて使用されて いないことが 多く見られるのでルール徹底してほしい。 グループで勉強、情報共有する場として話ながら勉強ができる、スペースが 欲しい。 空き教室などの開放ができないか。	学生委員会	予約の徹底については、以前から問題視されており、学生への啓発としてmanaba上に問題提起をしている。ただ、予約のキャンセルに関しては学生のマナー意識になるため、ルールで徹底するのは困難である。この点については学生の協力が必要である。空き室の利用につては、コロナ禍においては制限していたが、徐々に使用可能となっている。ただ、使用に関しては各学科の先生の許可を必ず取り使用していただきたい。	